

受け継いだ“バトン”!!

3月14日に、第76回目となる卒業式が行われました。

とても厳粛な雰囲気のもと、とても感動的で心温まる卒業式となりました。在校生代表の「卒業生を送る言葉」も、卒業生代表の「門出の言葉」もとても心のこもったすばらしい内容でした。式歌である「次の空へ」は、76期生らしい美しく、見事なハーモニーを披露してくれました。76期生の201名は、一人ひとり、新たな決意を胸に、それぞれの未来に思いを馳せながら、田辺中学校を立派に巣立っていきました。

1・2年生のみなさんは、卒業式の式場の準備や校舎内の清掃、会場の後片付けにかかわってくれました。みなさんのおかげで、立派な卒業を行うことができました。この場をお借りしてお礼を言いたいと思います。

卒業生代表の「門出の言葉」の中で、在校生に向けての次のメッセージがありましたのでここで紹介します。

在校生のみなさん、私たちを慕い、頼ってくれてありがとうございます。皆さんのおかげで、私たちは先輩として自覚を持つことができました。これから田辺中学校を築いていくのは、皆さんです。時には困難に直面することもあるでしょう。それを乗り越えてこそ、本当の田辺中学生になれるはずです。悩んでもいい、立ち止まってもいい。でも、最後は前を向いて一歩を踏み出してください。皆さんに、田辺中学校の伝統というバトンを渡します。

3年生が卒業して、田辺中学校も少し寂しくなりました。けれども、来月の4月4日には、1年生、79期生の入学式があり、令和7年度の田辺中学校がスタートします。新入生にとつて、皆さん一人ひとりが、大きな目標になっていくことでしょう。

中学校は、3つの学年で成り立っています。先輩たちに憧れながら、やがて後輩たちから憧れられる存在になっていく。それが学校という場の良さだと思います。

新しい後輩たちを迎える準備も整えながら、先輩から受け継いだバトンを、しっかりと握り、自分の目標を一つ一つ、達成していくください。